

令和2年度 学校関係者評価報告書

学校法人 清永学園
金沢福祉専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人 清永学園 金沢福祉専門学校 学校関係者評価委員会は「令和元年度自己点検・自己評価報告書」の結果に基づいて、令和3年1月19日(火)に学校関係者評価委員会を実施したので、下記の通り報告します。

1. 平成30年度自己点検・自己評価における学校関係者評価

評価項目	評価・講評
基準1 教育理念・目標・育成人材像	・コロナ禍の影響があるが、工夫されている様子がうかがえる。
基準2 学校運営	・SNSの活用範囲が拡大している。
基準3 教育活動	・人材を確保・定着するうえでも、教員としての人材育成は必要 ・学生が留学生中心になっているので今までの教育内容にプラスして、留学生に対しての教育内容が増えていると思う。教職員の方々の負担が増えていると思うが、教育機関2年での教育レベルは維持できる事を期待する。 ・ZOOM等を活用して録画録音する事で、教師の振り返りにも活用できる。
基準4 学生指導	・学生に対し規則正しい生活リズムを整えることは大変である ・生徒への指導状況はある程度の統一性が必要
基準5 特別活動	・コロナ禍の影響があると思う
基準6 学修成果	・過去5年間就職率100%という数字での評価はわかりやすい ・改善方策が具体的である。
基準7 学生支援	・支援体制は充実していると思われる ・評価点の平均が全体的に向上
基準8 教育環境	・施設設備環境の再点検を実施する必要がある
基準9 学生募集活動・受入	・留学生に向けた対応に努力している様子が伺える。 ・介護人材が不足している現場の状況と共通した課題であるように感じる。 ・学校内の学生へのかかわり方や、その教育環境を整えていくことも、学生の確保・定着につながる。
基準10 財務	
基準11 法令等の遵守	
基準12 社会貢献・地域貢献	・コロナ禍における工夫が必要
基準13 国際交流	・学校として尽力されていると思う

2. 総評

◇全般的に改善課題への方策は適切と考えられる。

◇「時代に合わせたツールの活用」「採用活動に動画を使用」「戦略的なホームページ運営」など、今の学生にあった活動を考えていかねばならない。